

〈第34回関東アコーディオン演奏交流会 第1回拡大実行委員会議事録より〉

2022年4月24日(日) 18:00~Zoom 会議

実行委員：浅川 池田 石橋 岡田 小神 織田 乙津 佐藤 塚本 築山(五十音順)

審査事務局：柴崎先生

□司会(築山さん)・・・皆さんこんばんは。先月の準備会で今年はアンサンブルをやることを決めたので今日の議題は、お誘い文の確認、募集要項の確認と、会計から出されている予算案の確認と、広告と仮チラシの確認が主な議題になります。

1. 実行委員の近況報告

□音楽センター金曜教室、ともしびアコーディオン合奏講座(宇野さん)

・金曜教室は、4月17日(日)音楽センターの修了式に参加して合奏で「ジュピター」を演奏しました。南部教室と東部教室はビデオを映しての参加でした。南部教室は毎年コンサートを開いているので私たちも毎年発表できたらいいなあと思いました。

□音楽センター南部教室(乙津)

・南部教室は3月19日(土)14:00開始で2021年度の修了演奏会を開催しました。コロナ対策をとりながらなので従来ほど広く声かけはしなかったけれども聴きに来てくださった方々ありがとうございました。最近入られた方も家族や友達が聴きに來られてうれしかったようです。

4月17日(日)に行われた音楽センターの終了演奏会には、3月19日に演奏した合奏曲「金婚式」のビデオで参加しました。

音楽センターは4月で後期が終わり、5月から新たに2022年度前期が始まります。現在メンバーは9名です。

□アンサンブル小川(織田さん)

・4月10日(日)小平の中央公民館で練習を始めました。今後、障害者センターの方も開館されるということでこれからは練習しやすくなるのかなと思っています。

9月の関東アコにも出たいねということで、曲目

を「バッハの管弦楽組曲第2番」に決めました。

個人では、ギター伴奏の曲をアコーディオン用に直したので、クリスマス会で知り合った二人に声を掛けて3人で取り組んでいます。花岡先生の教室にもつながる方なので、5月1日(日)開催の「花岡アコーディオン教室創立20周年記念発表会」で演奏させていただけることになり練習しています。※14~15ページに関連記事。

□ウィンドバスカーズ／埼玉アコーディオンサークル協議会(浅川さん)

・ウィンドバスカーズは、音楽センターと同じ4月17日(日)第62期初級教室修了演奏会を行いました。新しい方が一人修了されました。サークルとしてはだいぶ活動ができるようになり練習も集まれています。

・9月の関東アコには、出る予定で、合奏曲は修了演奏会でも演奏した「威風堂々」で話が進んでいます。アンサンブルは松永先生から楽譜をいただくのを待っているところです。

・川越サークルは、9月3日(土)開催の演奏会に取り組んでいます。

・埼玉全体では、7月29日(金)、30日(土)、31日(日)に、日帰りですが熊谷で夏期講座を計画しています。県外の方で今まで参加された方には連絡が行くと思います。いろいろなことを考えているのでよろしくお願いいたします。

※18~19ページに関連記事。

□横浜アコーディオン愛好会(塚本さん)

・6月5日(日)横浜市磯子区の公会堂でアコーディオン体験講座を開催します。これはアコーディオンの普及に努めようということで取り組みます。10名ぐらいの規模で考えています。

□音楽センター土曜教室(小神さん)

・音楽センターの修了演奏会(4月17日)では、合奏で「詩人の魂」を演奏しました。終了後、メンバーの方が結婚したということで、金曜教室も入って合同でお祝いを兼ねてパーティーを行いました。

□アンサンブル小川、我孫子サークル(池田さん)

・アンサンブル小川は、織田さんの報告の通りです。我孫子の方は、メンバーの一人の健康が思わしくない状態が続いているのでみんな心配していて、サークルの練習もできていない状況です。

□音楽センター金曜教室、JAA(佐藤さん)

・仕事が変わってアコに触る日が少なくなってきたけれど、音楽センターの修了演奏会には1回だけ音合わせして参加してきました。その後、先ほど小神さんの報告にあった懇親会に参加しました。

・JAAではこの夏、アコーディオンの基礎を学べるインターネット楽器講座や演奏を楽しめる夏祭りイベントを企画しております。

・お得にJAAに入会できる期間限定キャンペーンも実施予定です。内容が決まったらお知らせしますので、告知のご協力をよろしくお願いします。

□三AC、アンサンブル小川(築山さん)

・アンサンブル小川は織田さんが話してくれたので、もう1つの三多摩アコーディオンサークル(三AC)ですけど、月1回Zoom会議を始め、感染症のこともあるけれどもそろそろ

復活しようかという具体的な話が出ているところです。

□東京アコーディオン研究会(岡田さん)

・今日は和歌山県から参加しています。3月の準備会で、左手小指を骨折した話をしましたが、完治はしていません。結局曲がったままなので使ってはいるけれども動きはよくないです。

・3月20日にアコ研の内部発表会無事終わりました。そのときの記事はこれからニュース原稿として編集部に送りたいと思っています。

※12～13ページに関連記事。

・あと、予定では今年末にアコ研の創立60周年行事を予定しているけれども、コロナの関係で、会場とかいろんなところで苦労しそうです。

□音楽センター三多摩教室(石橋さん)

・関東アコには参加するつもりで練習しているけれども、次回練習日にはつきり確認したいと思っています。



2. 議事より抜粋

司会(築山さん)

・早速募集要項の話に入ってよろしいでしょうか。宇野さん、塚本さんから送られてきた原稿画面で共有できますか。はい、では、この画面を読みながら検討します。

・先月開いた準備会の中で、舞台上でソーシャルディスタンスを取ることを踏まえると、ピアノやドラムスなど入る大きな団体だと人数制限をする場合がでてくるのではないかという意見が出ていたけれども、その辺の文言はどうでしょうか。

○最近の傾向を見ていると、ホールの座席も隣と席を空けずに座っているし、舞台上もマス

ク無しを見かけるので、舞台に乗る人数制限までもなくてもいいのかなという気もする。

○以前、風のアンサンブルで、アコが20台ぐらい、+ピアノ、パーカッション、ドラムス、コントラバス、合唱(3人)という演奏があったけれども、そういう団体以外は問題にならないんじゃないかと思うけれども。

○抽選会(3月1日)の時の説明では、利用条件は昨年と変わらないということで、配布された「施設利用に当たっての遵守事項」には、昨年同様、赤字で「他の利用者及び施設管理者等との距離を1m以上(※カラオケ、合唱、器楽演奏等は2m以上)確保してください」と書かれている。また、会館内での飲食についても、昨年同様「水分補給を除く飲食はご遠慮ください」と説明があった。

・抽選会から2ヶ月近く経過しているので、滝野川会館の現在の状況を再度確認する必要がある。

○関東アコの場合、他の団体と一緒に舞台上がることはない。いつも一緒に練習している人たちと演奏するので、話を聞いていて、マスクをしていれば2mも空けなくてもよいのかなと思った。

隣との距離についてはその団体で考えていただいて、こちらからのお願いは「マスクを着用してください」ぐらいのお願いになるのかなと思います。

○3月の準備会でもでしたが、ピアノとかコントラバスとかドラムスなどが入る大人数の場合は、事務局にご相談ください。という形をとったらどうかとの意見も出ていました。私はそういう方向でいいのかなと思っている。

・心配な団体は、問い合わせしてもらえればお互いに意見交換ができるから、それなら大丈夫とか、団体の方で責任持って対応してくださ

いとか確認し合えればいいのかと思います。

○「舞台上の人数制限をお願いする場合があります」のような書き方でいいのではないかな。

○他に、お誘い文の中に、“審査員からのアドバイスを受けられること”とあるけれども、今年も昨年同様、本番当日審査員からの講評と結果発表は行わないので、この言い回しは変えた方がよい。

○例えば、「演奏での良い点、改善点など審査委員からのアドバイスを記入した楽譜が手渡されること」のような言葉でどうだろうか。

○楽譜の送付締め切り日が8月20日(土)となっているけれども、郵便局の土曜集配がなくなるので、土曜日必着は変える方がよい。1日早め8月19日(金)必着とか。

○今年の開催日は、9月11日と例年と比べて早いのと、郵便事情を考えて申し込み締め切り、楽譜の送付締め切りとも例年より早めた。参加を考えている方には早めに周知することが大事になる。

○提出していただく譜面の部数については、審査員の数が決まらないと必要な部数が決まらないから、前回同様、出場団体に後日連絡します。でいいでしょうか。

○今年は、ホームページの申し込みサイトを除く、「電話や郵送などでの申込先」と「楽譜の送付先」、両方とも塚本さん1本にしました。

○ゲスト審査員は(交渉中)と載せる。

○審査員の予定では、大田智美氏、川口裕志氏、柴崎和佳氏、松永勇次氏(五十音順)は決定。他は決まり次第ホームページとニュースでお知らせする。

○会計から報告。3月31日(木)池田さん、藤森さん、東谷さんの3名に監査をお願いして無事に会計監査を済ませました。

・会計が作成した第24回の予算案をみんなで確認しました。

○ゲスト演奏について、昨年と同様、すべての演奏が終了後は速やかに解散していただく形になるので、今年もゲストによる演奏は行わない。

○審査結果発表、講評についても昨年と同様に後日ホームページ、ニュース等で発表する形をとる。

○終了後の打ち上げについても、飲食は避けた方がよいと考えるので昨年と同様行わない。

○現時点で参加希望を把握している団体を報告し合い10団体ほど把握できた。

○仮チラシは岡田さんが担当する。

○広告の取り扱いについて、広告のお願い文は岡田さんが作成。広告の申込先は岡田さんに、岡田さんに届いた広告原稿は小神さんに送る。プログラムへのレイアウトは小神さんが担当する。

○今年も実行委員だけでは手が回らないので、お手伝いいただけるボランティアを周りの方に声を掛けていく。

・司会など、具体的に声を掛けられる方には早速声を掛けていただいて次回会議に報告する。

○次回拡大実行委員会の日程、5月22日(日)19:00～Zoom会議とする。

○編集部からの提案。

・現在、実行委員会ニュースは、B4用紙に印刷したものを二つ折りして発行している(1ページはB5サイズになる)。この用紙について、1ページのサイズをA4に変更してみたらどうかと思い始めている。

理由は、①原稿を依頼すると皆さんWordのA4サイズの用紙で作成したものを送ってくださる。

②5月に発行するニュースの場合、募集のお誘い、参加要項のように従来からA4サイズで作成されている原稿をニュースの中に落とし込める。

③演奏会終了後に審査事務局から発行される「結果の発表」「講評」もA4で作成されるので、これもそのままニュースの中に落とし込むことができる。

一方、マイナス面と考えるのは、

①用紙が大きくなるとコピー用紙の金額が若干高くなる。

②楽器店などにニュースを置かせていただいているので、売り場に置く際に迷惑を掛けることにならないか。等考えられるけれども、一度試しに1ページをA4で作成してみても皆さんの意見を聞かせていただければと考えている。

司会(築山さん)

では4月の会議はこれで終わります。皆さんありがとうございました。

